

(2016年度)

# 1 世界史問題 (60分)

(この問題冊子は20ページ, 4問である。)

## 受験についての注意

1. 試験監督者の指示があるまで, 問題冊子を開いてはならない。
2. 試験開始前に, 試験監督者から指示があったら, 解答用紙の右上の番号が自分の受験番号と一致することを確認し, 所定の欄に氏名を記入すること。次に, 解答用紙の右側のミシン目にそって, きれいに折り曲げてから, 受験番号と氏名が書かれた切片を切り離し, 机上に置くこと。
3. 試験監督者から試験開始の指示があったら, この問題冊子が, 上に記したページ数どおりそろっていることを確かめること。
4. 筆記具は, HかFかHBの黒鉛筆またはシャープペンシルに限る。万年筆・ボールペンなどを使用してはならない。時計に組み込まれたアラーム機能, 計算機能, 辞書機能やスマートウォッチなどのウェアラブル端末を使用してはならない。
5. 解答は, 解答用紙の各問の選択肢の中から正解と思うものを選んで, そのマーク欄をぬりつぶすこと。
6. マークをするとき, マーク欄からはみ出したり, 白い部分を残したり, 文字や番号, ○や×をつけたりしてはならない。また, マーク箇所以外の部分には何も書いてはならない。
7. 訂正する場合は, 消しゴムでていねいに消すこと。消しきずはきれいに取り除くこと。
8. 解答用紙を折り曲げたり, 破ったりしてはならない。
9. 試験監督者の許可なく試験時間中に退場してはならない。
10. 解答用紙を持ち帰ってはならない。
11. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

1 次の文章を読んで、問(1～8)に答えなさい。解答は、選択肢(a～e)からもっとも適切なものを1つ選びなさい。

ローマ帝国崩壊の混乱のなかで、文化の継承は極めて困難となり、西欧においては、読み書きができるものが減少した。フランク王国の絶頂を築いたカール大帝(シャルルマーニュ)でさえ、読み書きができなかったといわれる。

カール大帝は、国家の運営に識字力が必要であることを認識し、言葉の教育に着手するなど、古典文化の復興に努めた。この復興運動は、カロリング=ルネサンスとよばれ、(1)の宮廷がその中心となった。イギリス出身の神学者である(2)は、カール大帝に招かれ、教義・典礼の整備に尽力した。なお、(1)においては、1748年に、オーストリア継承戦争の講和条約が結ばれている。この条約においては、プロイセンが(3)を領有することと、(4)がハプスブルク家領を継承することが認められた。

カール大帝の築いた帝国は、その後に分裂し、荘園を基盤とする封建制が現れた。封建制のもとで、西欧社会は安定を回復するようになった。このような社会の安定を背景に、西欧において再び文化復興運動が起こり、これが12世紀ルネサンスとよばれている。十字軍によりイスラーム圏との交わりが進んだことなどから、アラビア語文献のラテン語への翻訳活動が盛んになった。(5)によるアリ<sup>(イ)</sup>リストテレス注釈書も、13世紀にラテン語に翻訳された。

封建社会が安定し農業生産が増大すると、余剰生産物の交換が活発になるようになった。このような背景から、商業活動の中心地として、都市<sup>(ウ)</sup>が再び歴史の表舞台に登場する。都市民が発言力を有するようになり、読み書きの能力が彼らの知的世界を広げるようになると、人間性の自由を求め、各人の個性を尊重しようとする文化運動が現れる。これがルネサンス<sup>(エ)</sup>であり、およそ14世紀から16世紀にわたってヨーロッパ各地に広まった。フィレンツェは、(6)の学芸保護のもとでイタリア=ルネサンスの中心都市となった。

16世紀のカトリック世界では、宗教改革<sup>(オ)</sup>が起こり、各地において様々な形で展開した。この運動の口火を切ったのが、ドイツのマルティン=ルターである。ルターの人生および西欧を激動へ導く契機となったのは、(7)がドイツにおい

て大量に販売されたことであった。これは、煉獄<sup>れんごく</sup>での罪の償いを軽減するものとして、カトリック教会が発行する証明書である。( 7 )購入のコインが箱に音をたてると、罪を赦されて魂は天国へ向かうといった当時の宣伝は、罪と救済について苦悶<sup>もん</sup>してきたルターを憤慨させた。彼は、1517年に、『( 8 )』によって( 7 )の有効性に疑問を投げかけたのである。

上記最後のルネサンスおよび宗教改革は、同時代的な運動という側面を有しながら、異なった精神に基づいていた。ルネサンスは、中世の宗教的文化に反対し、人間の理性や尊厳を尊重する人文主義運動であった。これに対して、宗教改革は、中世における信仰の教義化と教会の世俗化に反対し、神自身の純粹福音へ復帰しようとする運動であった。

問1 空欄(1～8)に入る語句はどれか。

- (1) a アーヘン    b トゥール    c パリ    d ポワティエ  
e リヨン
- (2) a アルクイン                    b ドミニコ    c フランチェスコ  
d ベネディクトゥス    e ベルナルドゥス
- (3) a アカディア                    b サルデーニャ    c シュレジエン  
d ブランデンブルク    e ネーデルラント
- (4) a オットー1世    b カトリーヌ＝ド＝メディシス  
c フランツ2世    d マリア＝テレジア    e ルドルフ1世
- (5) a イブン＝ルシュド(アヴェロエス)    b イブン＝ハルドゥーン  
c タバリー    d フィルドゥシー    e フワーリズミー
- (6) a カペー家    b ブルボン家    c ホーエンツォレルン家  
d メディチ家    e ヨーク家
- (7) a 勘合    b 朱印状    c 金印勅書    d 贖宥状  
e 特許状
- (8) a 神の国    b 九十五カ条の論題    c 四庫全書  
d 神学大全    e 神統記

問2 下線部(ア)に関連する次の出来事を年代順に並べたとき、3番目にくるものはどれか。

- a インノケンティウス3世がローマ教皇に即位した。
- b ウルバヌス2世がクレルモンで宗教(教会)会議を招集した。
- c フランドル伯ボードゥワンがラテン帝国の皇帝に選出された。
- d フリードリヒ1世(バルバロッサ)が小アジアで溺死した。
- e ルイ9世がチュニスで病死した。

問3 下線部(イ)の人物の説明として誤っているものはどれか。

- a アカデメイアでプラトンに学んだ。
- b アレクサンドリアに学園ムセイオンを開設した。
- c 諸学を体系的に集成したことから「万学の祖」とよばれた。
- d 西欧中世のスコラ学に大きな影響を与えた。
- e マケドニア王子のアレクサンドロスの教育係を務めた。

問4 下線部(ウ)の1つであるミラノの説明として正しいものはどれか。

- a 「アドリア海の女王」とよばれた。
- b イタリア北西部の海港都市であった。
- c エルベ川に面した港湾都市であった。
- d フッガー家により金融業の中心地となった。
- e ロンバルディア同盟の中核都市であった。

問5 下線部(エ)における「人物・『その作品』」の組み合わせのうち、誤っているものはどれか。

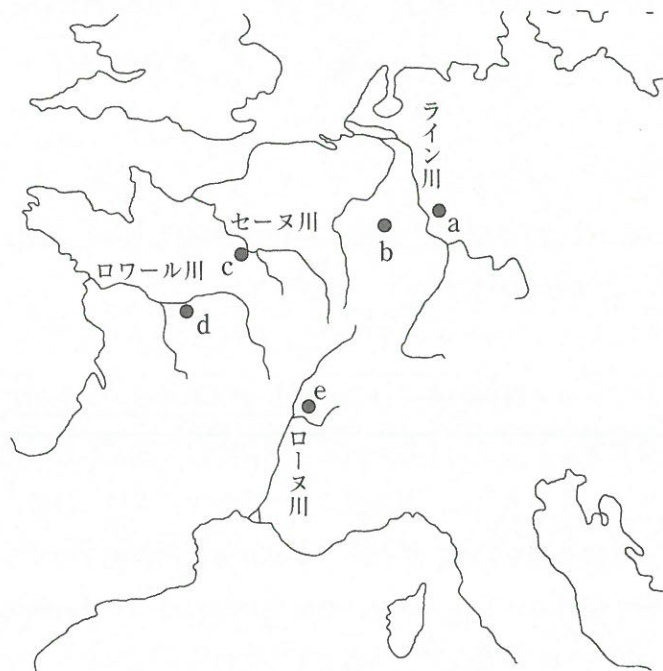
- a エラスムス・『愚神礼賛』
- b ダンテ・『神曲』
- c チョーサー・『カンタベリ物語』
- d ボッティチェリ・『ヴィーナスの誕生』
- e ラブレール・『叙情詩集』

問6 下線部(オ)に関連する次の出来事を年代順に並べたとき、3番目にくるものはどれか。

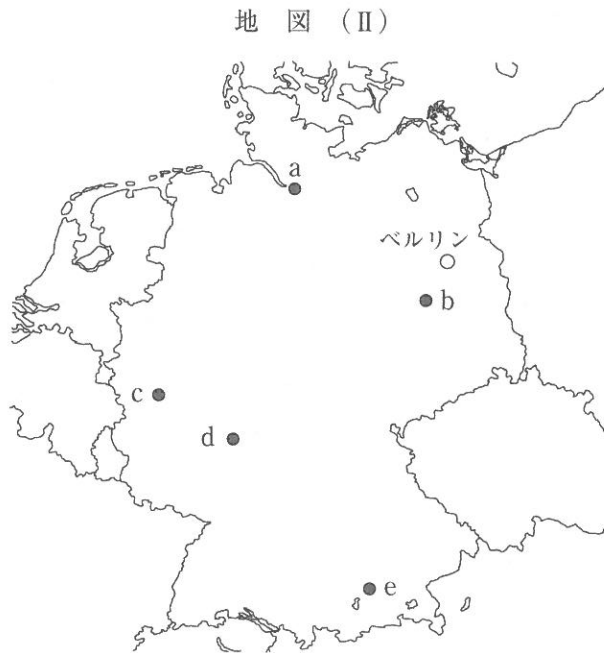
- a エリザベス1世が統一法によりイギリス独自の教会体制を確立した。
- b カルヴァンの『キリスト教綱要』初版がバーゼルで出版された。
- c 旧教徒(カトリック)と新教徒(プロテスタント)の間でシュマルカルデン戦争が勃発した。
- d マルティン＝ルターがヴォルムス帝国議会に召喚された。
- e ミュンツァーの指導によるドイツ農民戦争が勃発した。

問7 空欄( 1 )は、地図(I)上のどこにあるか。

地図 (I)



問 8 空欄( 8 )が公表された場所は、地図(Ⅱ)上のどこにあるか。



**2** 次の文章(I～Ⅲ)を読んで、問(1～18)に答えなさい。解答は、選択肢(a～d)からもっとも適切なものを1つ選びなさい。

(I) ラテンアメリカ諸国の多くは、ナポレオンのスペイン占領による本国の政治的混乱を契機として1810年代から20年代にかけて独立した。独立闘争を主導した現地生まれの白人層は、本国生まれの少数の白人層に特権的地位が与えられていたことに不満を持ち、また、アメリカ合衆国の独立やフランス革命から思想的影響を受けていた。メキシコでは1810年の( 1 )の蜂起に始まる約10年の闘いを経て独立が達成され、南米大陸では北からシモン＝ボリバル、南からサン＝マルティンを指導者とする独立軍が各国を解放し1824年にはスペイン国王派に対して決定的勝利をおさめた。ポルトガルの植民地であったブラジルも1822年に( 2 )国家として独立を果たした。ラテンアメリカ諸国の独立の達成には、当時の欧米諸国の利害も深く関わっていた。

問1 下線部(ア)に関する記述として誤っているものはどれか。

- a ナポレオンは国王フェルナンド7世を退位させ、自らスペイン国王となった。
- b スペイン民衆は数年にわたりゲリラ戦でフランス軍に抵抗し、イギリスもスペイン民衆の抵抗を支援した。
- c スペインの画家ゴヤは「1808年5月3日」で侵略に抵抗して銃殺される民衆を描いた。
- d フランスの占領を免れた港湾都市カディスで1812年、自由主義的憲法が制定された。

問2 下線部(イ)に関して、これらの人々は何と呼ばれたか。

- a カウディーリョ      b ペニンスラール      c メステイーン
- d クリオーリョ

問3 空欄( 1 )に入る人名はどれか。

- a ファレス      b イダルゴ      c サパタ      d ビリヤ

問4 下線部(ウ)の人物に関する説明として誤っているものはどれか。

- a ベネズエラ生まれの白人層の出身である。
- b 彼の名はボリビアという国名として残っている。
- c 彼が成立させた大コロンビア共和国は、後にベネズエラ、コロンビア、ボリビアに分裂した。
- d ラテンアメリカ統一を目指していたが、地域間の利害や理念の不一致から実現しなかった。

問5 空欄( 2 )に入る適切な言葉はどれか。

- a 連邦共和政      b 単一共和政      c 帝政      d 選挙王制

問6 下線部(エ)に関する説明で誤っているものはどれか。

- a ラテンアメリカへの経済進出を狙うイギリスが、公然と独立を支持した。
- b アメリカ合衆国はモンロー教書(宣言)で、ヨーロッパ諸国に対し、西半球への不干渉を要求した。
- c アメリカの絶大な海軍力によって、西半球へのヨーロッパ諸国の介入は事実上困難になっていた。
- d モンロー教書は、アメリカ合衆国自身によるラテンアメリカへの介入の余地を残していた。

(II) 中米およびカリブ海地域には19世紀末以降、アメリカ合衆国の帝国主義政策と関わる形で独立した国もある。アメリカ合衆国はスペイン植民地であったキューバの独立運動を支援するとして( 3 )年、米艦メイン号爆破事件を口実<sup>(オ)</sup>に開戦し、スペインを破った。これによりキューバは名目上独立したが、実際にはアメリカ合衆国の保護国同然であった<sup>(カ)</sup>。この戦争を機にアメリカ合衆国は太平洋地域にも進出し、ハワイやグアムを領有したほか、<sup>(キ)</sup>門戸開放宣言を<sup>(ク)</sup>発して列強による中国分割を牽制した。また、パナマを( 4 )から分離独立させたうえで運河建設の権利を獲得<sup>(ケ)</sup>した。

問7 空欄( 3 )に入る年はどれか。

- a 1881      b 1898      c 1901      d 1908

問8 下線部(オ)に関して、この戦争を実行した大統領は誰か。

- a マッキンリー      b タフト      c セオドア・ローズヴェルト
- d ハーディング



問9 下線部(カ)に関する記述として誤っているものはどれか。

- a 1890年代半ばにホセ＝マルティらが第2次独立戦争を起こしたが、独立の主導権を握るにはいたらなかった。
- b アメリカ合衆国は外交権の制約や内政干渉権を内容とするプラット条項をキューバ憲法に盛り込ませた。
- c プラット条項はアメリカ合衆国に海軍基地建設権を認めており、これに基づいてグアantanamo海軍基地が設けられた。
- d プラット条項はカストロのキューバ革命が成功するまで維持された。

問10 下線部(キ)に関する記述で誤っているものはどれか。

- a 19世紀初頭、カメハメハ朝がハワイ王国を樹立した。
- b 1850年代以降、サトウキビ栽培と製糖業が盛んになり、アジア諸国から多くの移民が流入した。
- c 1893年にカメハメハ2世が親アメリカ派のクーデターによって退位し、ハワイ王国は滅亡した。
- d 1898年にアメリカ合衆国に併合され、後に50番目の州となった。

問11 下線部(ク)の宣言で打ち出された原則でないものはどれか。

- a 中国における租借地の全面廃止
- b 中国の領土・行政の保全
- c 中国における商業活動の自由
- d 中国への参入機会の均等化

問12 空欄( 4 )に入る国名は何か。

- a ニカラグア    b コスタリカ    c コロンビア    d メキシコ

問13 下線部(ケ)に関して、運河が開通したのは何年か。

- a 1900年    b 1904年    c 1910年    d 1914年

(Ⅲ) 19世紀末の南北アメリカの情勢変化はアジアにも及んだ。フィリピンは16世紀以降スペインの植民地支配を受け、キリスト教(カトリック)を受容した点でラテンアメリカと一定の類似性を持つ。同地でも19世紀末に知識人による植民地支配批判や秘密結社による反スペイン蜂起という形で独立運動が展開したが、アメリカ=スペイン戦争で勝利したアメリカ合衆国がフィリピンの領有を決めたため、独立への闘いはフィリピン=アメリカ戦争として継続した。独立要求は以後も絶えることがなかったが、実現したのは第二次世界大戦後であった。

問14 下線部(コ)に関する記述で誤っているものはどれか。

- a フィリピンという名称はスペイン国王フェリペ2世に由来する。
- b 1560年代にマゼラン(マガリャンイス)がセブ島に到達して以降、スペインによる征服が進んだ。
- c スペインはフィリピン経営の拠点としてマニラを建設し、総督府を置いた。
- d アカブルコとマニラの間でガレオン船による交易が行われ、メキシコ銀と絹・陶磁器などが交換された。

問15 下線部(サ)に関して、スペイン留学中に植民地支配の腐敗を指弾した政治小説『われにふれるな(ノリ・メ・タンヘレ)』を発表したのは誰か。

- a ボニファシオ      b カルティニ      c アギナルド
- d ホセ=リサール

問16 下線部(シ)の秘密結社の名称は次のうちどれか。

- a カティプーナ      b フィリピン民族同盟      c フクバラハップ
- d フィリピン委員会

問17 下線部(ス)に関して、この戦争が終結しアメリカ合衆国による植民地統治が始まったのはいつか。

- a 1900年    b 1902年    c 1904年    d 1906年

問18 下線部(セ)に関する記述として誤っているものはどれか。

- a 独立要求の高まりを受け、1934年に10年後の独立が約束された。  
b 1935年にはケソンを大統領とする独立準備政府が発足した。  
c 1942年に日本の占領下に置かれ、その下で親日政権が発足したが、日本の敗戦とともに崩壊した。  
d フィリピン共和国として独立した1946年、マルコスが初代大統領に就任した。

**3** 次の文章を読んで、問(1～10)に答えなさい。解答は、選択肢(a～e)からもっとも適切なものを1つ選びなさい。

長期の総力戦となった第一次世界大戦が終わると、ヨーロッパ世界は戦前と一変した。まず、戦前ヨーロッパの三つの帝国が<sup>(ア)</sup>瓦解し、<sup>(イ)</sup>多くの新興国が誕生した。

総力戦に耐える経済力に乏しかったロシアでは、食糧要求・戦争反対・専制打倒の声が大きくなり、1917年3月、帝政が瓦解して、( 1 )を中心とする臨時政府が成立した。これをロシア三月革命(ロシア暦二月革命)という。臨時政府は戦争を続行したが、ソヴィエトの主流派は、祖国防衛的な戦争は認めたものの、領土獲得などの帝国主義的戦争目的は否定した。一方、亡命先の( 2 )から帰国した( 3 )の指導者レーニンは、( 4 )を発表してソヴィエト共和国樹立を唱え、戦争継続に反対した。臨時政府は首相を社会革命党の( 5 )に代え、戦争を続行した。<sup>(ウ)</sup>

国民の中で戦争停止を求める声が大きくなると、( 3 )と社会革命党左派は11月に武装蜂起して臨時政府を倒した。これを十一月革命(ロシア暦十月革命)と

いう。こうして成立したソヴィエト政権は、( 6 )条約によってドイツとの単独講和に踏み切り、内政掌握を図った。しかし、プロレタリア独裁を進めるソ<sup>(エ)</sup>ヴィエト政権に対し、国内の反対勢力は蜂起して、内戦になった。また、従来の<sup>(オ)</sup>外交的慣習に反する行動をおこなうソヴィエト政権に対して、連合国側は干渉戦<sup>(カ)</sup>争を行った。こうして、ソヴィエト政権は、内外の敵と戦わなくてはならない状況となった。ソヴィエト政権は、1917年に設置した治安組織の( 7 )によって反対派の取り締まりを強め、さらに( 8 )によって、食糧の強制的徴発や、中小企業にまでおよぶ国有化を実施して、この内外の苦境をなんとか乗り切った。

さて、同盟国側にとって参戦したオスマン帝国は、講和条約である( 9 )条約によって領土を大幅に割譲させられ、隣国ギリシアの( 10 )侵入によって、存亡の危機にさらされた。そのなかで、オスマン帝国を見限った( 11 )は、( 12 )で大国民議会を招集して臨時政府を樹立し、フランス・イタリアによる占領地を奪回し、ギリシア軍を( 10 )から撃退した。オスマン帝国は名実ともに滅亡し、1923年にトルコ共和国の成立が宣言された。( 11 )は、オスマン帝<sup>(キ)</sup>国に存在したさまざまな制度を改革して近代化につとめ、連合国と( 13 )条約を結んで、先の( 9 )条約を廃棄させることに成功した。

問1 文章中の空欄(1～13)に入るもっとも適切な語は何か。

- (1) a 急進社会党            b 社会民主党        c ボリシェヴィキ  
       d メンシェヴィキ        e 立憲民主党
- (2) a イギリス            b イタリア            c スイス  
       d ドイツ                e フランス
- (3) a 急進社会党            b 社会民主党        c ボリシェヴィキ  
       d メンシェヴィキ        e 立憲民主党
- (4) a 「光榮ある孤立」      b 四月テーゼ        c 十四カ条  
       d 善隣外交                e 「平和に関する布告」
- (5) a ウィッテ              b ガボン              c ケレンスキー  
       d ストルイピン         e プレハーノフ

- (6) a アドリアノーブル    b プレスト=リトフスク  
 c ベルリン    d ラパロ    e ワルシャワ
- (7) a 公安委員会    b 親衛隊    c 鉄騎隊  
 d 非常委員会(チェカ)    e 秘密警察(ゲシュタポ)
- (8) a 一国社会主義    b 国家総動員体制    c 戦時共産主義  
 d 新経済政策(ネップ)    e 第1次五カ年計画
- (9) a サン=ジェルマン    b セーヴル    c トリアノン  
 d ヌイイ    e ロカルノ
- (10) a アンカラ    b イスタンブル    c イズミル(スミルナ)  
 d キプロス    e マルタ
- (11) a エンヴェル    b ミドハト=パシャ    c ムスタファ=ケマル  
 d メフメト    e レザー=ハーン
- (12) a アンカラ    b イスタンブル    c イズミル(スミルナ)  
 d キプロス    e マルタ
- (13) a サン=ステファノ    b トルコマンチャーイ    c パリ  
 d ロカルノ    e ローザンヌ

問2 下線部(ア)に関して、この三つの帝国のいずれかで崩壊時に皇帝であった人物は誰か。

- a ヴィルヘルム1世    b カール1世    c ニコライ1世  
 d フランツ1世    e フランツ=ヨーゼフ1世

問3 下線部(イ)に関して、第一次世界大戦の結果成立した、ないしは独立を回復した、とはいえない国はどれか。

- a チェコスロヴァキア    b フィンランド    c ポーランド  
 d ラトヴィア    e ルーマニア

問4 下線部(ウ)の党の源流となった党派は何か。

- a カルボナリ      b サンディカリスト      c シン＝フェイン
- d デカプリスト      e ナロードニキ

問5 下線部(エ)に関して、ポリシェヴィキがおこなって大きな反感を買い、内戦の一因となったと言われていることはどれか。

- a 憲法制定会議の選挙を実施しようとしなかったこと。
- b 憲法制定会議の選挙を実施したが、不公平な制限選挙であったこと。
- c 憲法制定会議の選挙をしたのに、会議を開催しなかったこと。
- d 憲法制定会議を開催したが、それをすぐに武力で閉鎖したこと。
- e 憲法制定会議を開催したが、そこで可決された憲法を發布しなかったこと。

問6 下線部(オ)に関して、帝政時代の秘密外交の内容を暴露したことも、従来の外交的慣習に反した行動であった。ソヴィエト政権によって暴露され、それが連合国の結んでいた他の条約・協定と矛盾するために、後に大きな政治問題となった条約・協定・宣言は何か。

- a サイクス・ピコ協定      b 再保障条約      c バルフォア宣言
- d フセイン・マクマホン協定      e ロンドン秘密条約

問7 下線部(カ)に関して、もっとも遅くまでシベリアに出兵した国はどれか。

- a 日本      b アメリカ      c イギリス      d ドイツ
- e フランス

問8 問7のシベリア出兵のきっかけとなった事件は何か。

- a コミンテルンの創設      b シベリア鉄道の破壊      c 赤軍の結成
- d チェコ軍団の反乱      e ロシア皇帝の処刑

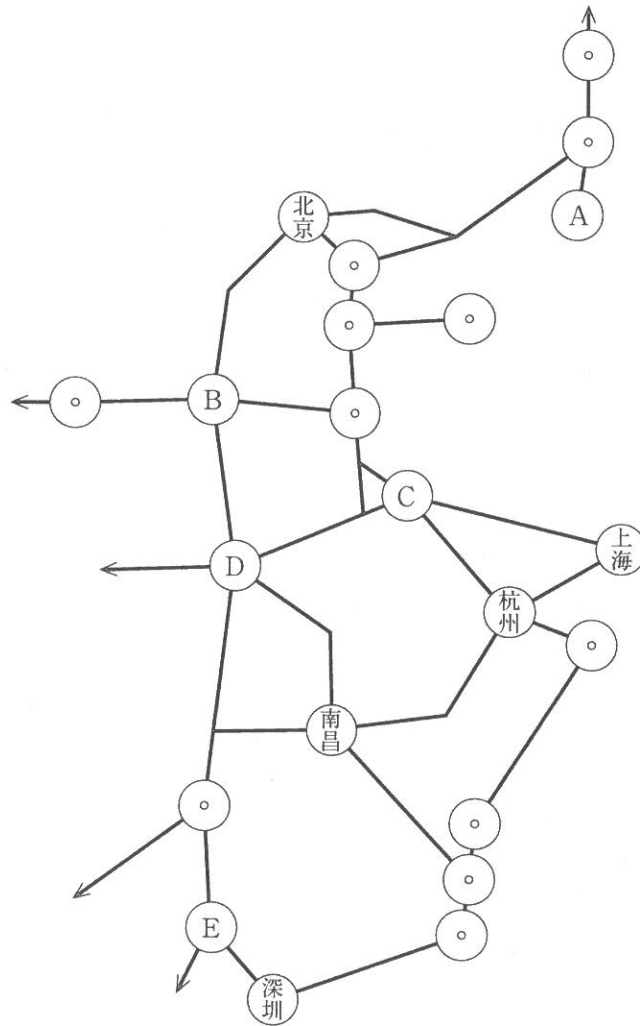
問9 下線部(キ)に関して、この改革に含まれていないものは何か。

- a アラビア文字からラテン文字への転換
- b カリフ制の廃止
- c 女性参政権の付与
- d トルコ帽の着用禁止
- e ユリウス暦の採用

問10 空欄( 13 )の条約に含まれていないものはどれか。

- a アナトリアでのトルコの領土回復
- b トルコにおける治外法権の撤廃
- c トルコの関税自主権の回復
- d トルコのキプロス領有
- e 連合軍のイスタンブルからの撤退

- 4 下の図は中国高速鉄道(日本の新幹線にあたる)の大まかな路線図である。これを見ると古来の主要な交通路が現在に至るまであまり変化していないことがわかる。これに関して以下の問(1~8)に答えなさい。解答は選択肢(a~e)あるいは(a~h)から適するものを選びなさい。





問1 図中のA～Eには都市名が入る。それは何か。それぞれもっとも適するものを1つずつ選びなさい。

A a 天津 b 長春 c 満洲里 d 青島 e 大連

B a 重慶 b 鄭州 c 旅順 d 済南 e 京城

C a 揚州 b 南京 c 新京 d アモイ e 蘇州

D a 武漢(漢口) b 成都 c 桂林 d 宜昌 e 長沙

E a ハノイ b 香港 c 貴州 d 広州 e マカオ

問2 A周辺およびAから北に延びる路線に関する次の文のうち、誤っているものはどれか。適するものを2つ選びなさい。

- a この路線はシベリア鉄道と結ぶ東清鉄道の支線であった。
- b この路線の敷設権は、もとはロシアが手に入れていた。
- c この路線の南部は南満洲(州)鉄道によって経営された。
- d この路線の奉天周辺は日露戦争の激戦地であった。
- e ロシアは下関条約で、この路線沿線の利権を手放した。
- f Aは遼東半島南部に位置する港町である。
- g 遼東半島南部はポーツマス条約によって日本が租借権を継承した。
- h 満洲(州)国はこの路線の中間にあるハルビンを首都としていた。

問3 北京から南下し、Cを経て上海に至る路線に関する次の文のうち、誤っているものはどれか。もっとも適するものを1つ選びなさい。

- a この路線の大部分は漢代に開かれた大運河と並行している。
- b この路線は中国の三本の大河—黄河・淮河・長江—を渡っている。
- c 1928年、日本軍はこの路線の中間にある済南で国民革命軍と衝突した。
- d この路線は途中で山東半島方面に向かう路線と分岐している。
- e Cは東晋と南朝の都が置かれた都市で、かつては建康とよばれた。

問4 北京から南下してB・Dに至る路線に関する次の文のうち、誤っているものはどれか。適するものを2つ選びなさい。

- a この路線は太行山脈の東側を南下している。
- b この路線は「絹の道(シルク＝ロード)」の東方への延長ルートとBにおいて交差している。
- c Bは洛陽と開封の間に位置する古い都市である。
- d Bから西に向かうと古代文化の中心であった西安に至る。
- e 安禄山軍の主力はほぼこの路線沿いに南下し、洛陽から長安を占領した。
- f Dは長江の中流域にあり、陸上・水上交通が交差する要衝である。
- g Dから西に向かうと国民政府の首都であった南京がある。
- h 三国時代、Dの東にある赤壁で魏と呉・蜀の勢力が衝突した。

問5 DからEに至る路線は南方諸地域に通じるルートとして古くから利用されていた。また海外から交易でもたらされた物資は、この路線に沿って北方へ運ばれた。この路線および周辺地域に関する次の文のうち、誤っているものはどれか。適するものを2つ選びなさい。

- a 秦の始皇帝はE周辺の百越とよばれた諸民族を征服して南海郡を置いた。
- b 秦の滅亡後、南海郡には漢人の国家である南越が建てられた。
- c 漢の武帝は南越を滅ぼして、南海9郡を置いた。
- d 大秦王安敦の使者はEに来航し、そこから洛陽へ向かった。
- e 唐代にはムスリム商人が来航するようになり、Eに市舶司が設置された。
- f 唐宋時代、Eのような国際交易都市には蕃坊が置かれた。
- g 18世紀半ば、乾隆帝はヨーロッパとの貿易港をEに限定した。
- h Eにおいて貿易業務の独占を認められた商人団体を公所という。

問6 杭州から東に分かれ、海岸線を通って深圳まで南下する路線は、かつて海上交通が栄えていたルートに沿うものである。この路線に関する次の文のうち、誤っているものはどれか。適するものを2つ選びなさい。

- a この路線の北部にある寧波には、日本の遣唐使船や勘合貿易船が入港していた。
- b この路線の中部に位置する泉州には、海外貿易の発展にともなって唐代に市舶司が置かれた。
- c 元代にマルコ＝ポーロはこの路線中部の泉州を訪れ、その繁栄ぶりを記している。
- d 明代の後期倭寇はこの路線にある諸地域を襲った。
- e この路線上には南京条約で開港した福州・マカオがある。
- f 深圳は、1997年の香港返還以前は国境の町として栄えた。
- g 鄭芝竜はこの路線の中・南部を拠点とした海上貿易で財をなした。
- h 清は鄭成功の反清活動を抑えるためにこの路線の中・南部地域に遷界令を出した。

問7 D—E路線から東、南昌の南、海岸線から西の地域は交通が不便なため古くから孤立した地域であった。この地域に中華ソヴィエト共和国臨時政府の首都が置かれたが、それはどこか。もっとも適するものを1つ選びなさい。

- a 瑞金    b 廬山    c 井岡山    d 延安    e 重慶

問 8 E—深圳路線の周辺で、欧米諸国と清との間で不平等条約が締結された。

次の①～③の条約と締結相手国との組み合わせで正しいものはどれか。もつとも適するものを1つ選びなさい。

条約名：①虎門寨追加条約 ②望厦条約 ③黄埔条約

組み合わせ

- a ①—イギリス ②—アメリカ ③—フランス
- b ①—イギリス ②—フランス ③—アメリカ
- c ①—フランス ②—イギリス ③—アメリカ
- d ①—アメリカ ②—フランス ③—イギリス
- e ①—フランス ②—アメリカ ③—イギリス







